

2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネ

大会概要

- 1 大会名称
2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネ
(英文: Special Olympics World Summer Games Athens 2011)
- 2 開催時期
2011年6月25日～7月4日
- 3 開催地
ギリシャ共和国、アテネ
- 4 参加者
アスリート……………185か国・地域より7,500人
コーチ・役員……………2,500人
ボランティア……………25,000人
- 5 日本選手団
アスリート……………52人
コーチ・役員……………23人
- 6 開催競技
22公式競技を実施。
日本選手団として派遣するのは9競技(水泳競技、陸上競技、バドミントン、ボウリング、ゴルフ、体操競技、卓球、テニス、バレーボール)

第11回全国障害者スポーツ大会（「おいでませ！山口大会」）

1 開催期間
平成23年10月22日（土）～24日（月）

2 大会のスローガン
「君の一生けんめいに会いたい」

3 実施競技

個人競技（6競技）

陸上競技【身体・知的】

水泳【身体・知的】

アーチェリー【身体】

卓球【身体・知的】（サントテーブルテニス【身体】を含む）

フライングディスク【身体・知的】

ボウリング【知的】

団体競技（7競技）

バスケットボール【知的】

車椅子バスケットボール【身体】

ソフトボール【知的】

フットベースボール【知的】

グランドソフトボール【身体】

バレーボール【身体・知的・精神】

サッカー【知的】

4 大会を支えるボランティア（予定）

大会運営ボランティア 約3,500名

情報支援ボランティア 約700名

手話 約300名

手書き要約筆記 約300名

パソコン要約筆記 約100名

選手団担当ボランティア 約800名

5 都道府県・指定都市別個人協議参加枠割当数(案)

都道府県(市)	個人競技参加枠割当数			都道府県(市)	個人競技参加枠割当数		
	身体	知的	合計		身体	知的	合計
北海道	30	39	69	広島県	17	23	40
青森県	11	17	28	山口県	59	83	142
岩手県	11	16	27	徳島県	12	17	29
宮城県	10	15	25	香川県	13	17	30
秋田県	13	14	27	愛媛県	17	22	39
山形県	11	13	24	高知県	12	16	28
福島県	15	20	35	福岡県	18	25	43
茨城県	14	23	37	佐賀県	9	14	23
栃木県	12	18	30	長崎県	13	18	31
群馬県	12	17	29	熊本県	16	20	36
埼玉県	25	36	61	大分県	12	14	26
千葉県	31	46	77	宮崎県	12	15	27
東京都	59	72	131	鹿児島県	17	21	38
神奈川県	17	24	41	沖縄県	12	18	30
新潟県	12	16	28	札幌市	14	18	32
富山県	10	13	23	仙台市	8	12	20
石川県	10	13	23	さいたま市	8	11	19
福井県	9	11	20	千葉市	17	26	43
山梨県	9	11	20	横浜市	15	26	41
長野県	16	22	38	川崎市	8	12	20
岐阜県	20	27	47	相模原市	6	10	16
静岡県	13	20	33	新潟市	7	10	17
愛知県	23	35	58	静岡市	7	11	18
三重県	13	17	30	浜松市	7	11	18
滋賀県	10	16	26	名古屋市	14	19	33
京都府	12	15	27	京都市	14	17	31
大阪府	28	40	68	大阪市	20	24	44
兵庫県	23	30	53	堺市	9	12	21
奈良県	11	15	26	神戸市	13	16	29
和歌山県	11	13	24	岡山市	10	15	25
鳥取県	11	16	27	広島市	12	18	30
島根県	12	17	29	北九州市	10	14	24
岡山県	14	20	34	福岡市	10	14	24
				合計	986	1,356	2,342

「第 11 回全国障害者芸術・文化祭埼玉大会」の概要（案）

1 目 的

文化・芸術分野の創作活動への参加を通じ、障害者の‘生活の質’の向上を図ると共に、その活動で生み出された優れた作品を広く紹介することで、障害者の創作活動に対する国民の理解と認識を深め、障害者の社会参加や自立の促進につなげていくことを目的とする。

2 大会内容(案)

- ① 障害者音楽コンサート
- ② 文化活動発表会
- ③ 絵画公募展
- ④ 障害者と地域との交流を目的とした展示会
- ⑤ 障害者アート企画展
- ⑥ プロダンサーと障害者によるワークショップ及びダンス公演
- ⑦ 聴覚障害者の演出家によるワークショップ及び演劇公演
- ⑧ バリアフリー芸術鑑賞会
- ⑨ 「障害者アート」商品化セミナー

3 主 催

厚生労働省、埼玉県、さいたま市

4 期 日

平成 23 年 4 月～ 12 月

5 会 場

埼玉県立近代美術館、彩の国さいたま芸術劇場ほか

広州 2010 アジアパラ競技大会の結果等について

- 1 大会名称 広州 2010 アジアパラ競技大会 「Guangzhou 2010 Asian Para Games」
- 2 大会期間 平成 22 年 12 月 12 日 (日) 開会式～19 日 (日) 閉会式 (8 日間)
- 3 開催地 中国・広州市
- 4 主催 アジアパラリンピック委員会 (APC)
広州 2010 アジアパラ競技大会組織委員会 (GAPGOC)、中国・広州市
- 5 参加国・地域 41 カ国 (前回フェスピック KL 大会：46 カ国参加)
- 6 参加者数 3,798 名 (選手 2,512 名 役員 1,286 名)
- 7 日本選手団 359 名 (選手 223 名、役員 136 名)
- 8 実施競技 19 競技
- 9 日本選手団競技別メダル数

No.	競技名	計	金	銀	銅
1	アーチェリー	2	2		
2	陸上競技	19	5	5	9
3	バドミントン	3	1		2
4	ボッチャ				
5	自転車	5	2	3	
6	5人制サッカー				
7	7人制サッカー	1			1
8	ゴールボール男子				
9	ゴールボール女子	1		1	
10	柔道	9	3	3	3
11	パワーリフティング				
12	ボート	2		2	
13	射撃	1			1
14	シットイングバレーボール男子				
15	シットイングバレーボール女子	1		1	
16	水泳	51	15	20	16
17	テニピンボウリング	2		2	
18	卓球				
19	車いすフェンシング				
20	車椅子バスケットボール男子	1	1		
21	車椅子バスケットボール女子	1	1		
22	車いすテニス	4	2	2	
	合 計	103	32	39	32

10 大会特記事項

- 1) フェスピック競技大会の歴史を引き継ぎ、第 10 回の地域競技大会として開催。
(アジアパラリンピック委員会としては初の開催)
- 2) 新たな実施競技としてパラリンピックで実施されている視覚障害者の 5 人制サッカーとボートが採用された。
- 3) 平成 22 年 11 月 12 日～27 日に同地で開催された第 16 回アジア競技大会と同じ会場を原則的に使用。
選手村も、新設されるアジア大会選手村を使用した。

11 大会エンブレムと大会マスコット

大会エンブレム

大会マスコット
「Fun Fun」

国際障害者交流センターの概要

1. 名称及び愛称

「国際障害者交流センター」(愛称:ビッグ・アイ)

2. 所在地

大阪府堺市南区茶山台1-8-1

3. 施設規模

地上3階地上1階建(敷地面積 約8,000㎡, 延床面積 約12,000㎡)

4. 主な施設内容

多目的ホール

[客席約1,500席、車椅子利用の場合約1,000席(うち車椅子席約300席)]

宿泊室 [35室(洋室26室、和室6室、和洋室2室、重度障害者対応室1室)]

大・中・小研修室

バリアフリープラザ(情報・相談コーナー)

レストラン(50席)

駐車場

5. 障害者のための特別な機能

大型映像設備、集団補聴設備、同時通訳補助設備を設けた多目的ホール

館内自動音声案内設備

広い空間を確保したバリアフリー仕様の宿泊室

文字表示・発光・振動機能を有した緊急時にも対応できる館内案内設備

光点滅式避難誘導設備 等

6. 主な事業

障害者芸術・文化活動支援事業

国際交流事業

災害支援ボランティアリーダー養成研修事業

障害関係福祉情報等提供事業

7. 施設の利用予約及び料金等の問合せ先

TEL : 072-290-0900

FAX : 072-290-0920

URL : <http://big-i.jp/>